

II 新任期以降から現在まででお答え下さい。

1 0 保健所保健婦のモデルとなるような人に会いましたか？

┌ 1.会った            2.会わなかった

└ あった方に伺います。その人のどのようなところがモデルと感じられましたか？

該当するもの3つ選んで○印してください

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1.適切なケース援助       | 2.的確な地区診断能力            |
| 3.地区状況の具体的な資料化   | 4.ニーズの明確化から、実施、評価のプロセス |
| 5.優れた企画力         | 6.優れた調整能力              |
| 7.優れた会議運営能力      | 8.タイムリーな判断             |
| 9.優れた行動力         | 10.常に住民サイドに立つ姿勢        |
| 11.管内全体を捉えるものの見方 | 12.優れた後輩への教育的な配慮       |
| 13.優れた研究的な能力     |                        |
| 14.その他（どんな？      | ）                      |

1 1 保健所保健婦として能力開発に有効であった示唆を受けたことはありますか？

┌ 1.ある            2.ない

└ あった方に以下は伺います

→ 誰から？    1.先輩保健婦            2.上司（保健婦で係長級）  
                  3.上司（保健婦の課長級）    4.その他（            ）

└ 上司の示唆はどんなことがあったでしょうか？

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1.個を大事にする姿勢     | 2.個別ケースへの援助方法        |
| 3.個別援助の成果確認     | 4.適切な地区把握            |
| 5.地区把握の資料化      | 6.地区把握からの業務評価        |
| 7.地区把握からの新規事業企画 | 8.担当業務における関係機関への調整方法 |
| 9.会議準備方法        | 10.会議運営方法            |
| 11.市町村支援の方法     | 12.研究についての指導         |
| 13.その他（どんな？     | ）                    |

1 2 保健所保健婦の能力開発に役だったと思う仕事はありますか？

┌ 1.ある            2.ない

└ あった方に以下は伺います。

→ どんな仕事？    1.地区の実態把握からの新規事業企画  
                          2.担当業務の評価や見直し  
                          3.在宅ケアシステムづくり  
                          4.研究的な業務  
                          5.市町村支援  
                          6.その他（どんな？            ）

\*次ページに続きます。

保健所保健婦の能力開発に役だったと思う仕事についてお聞きします。

→具体的にどんな仕事で何の能力開発に役だったかを書いて下さい。

a.具体的な仕事の内容は？ ( )

b.何の能力？ ( )

→その時の上司の係わりはどんなだったでしょうか？具体的に書いて下さい。

( )

1 3 いままでに研究的に仕事に取り組んだことはありますか？

1.ある 2.ない

以下はある方に伺います。

→具体的にどんな内容ですか？

( )

→学会等に発表はしましたか？ 1.した（どこへ？）

2.しない

1 4 今までをふりかえって「保健所保健婦らしい活動」ができたと思うことがありますか？

1.ある 2.ない

→どんな仕事でしたか？ ( )

1 5 自己能力開発について伺います。

a.あなたは自分で雑誌を取っていますか？ 1.いる 2.いない

b.あなたは保健所内にある雑誌は読みますか？ 1.いつも 2.時々 3.必要に応じて  
4.読まない 5.その他

c.あなたは自費で研修会に参加しますか？

1.参加したことはある 2.テーマを選んで参加する  
3.常に参加を心がけている 4.あまり参加しない  
5.その他

d.あなたは能力開発のための自己学習としてどんなことを行っていますか？

具体的に書いて下さい。

( )

Ⅲ 保健所保健婦の能力育成について

1 6 中堅保健婦の保健所保健婦能力育成に一番必要なことはどんなことでしょうか？

該当するものから1つを選んで○印をしてください。

- 1.都道府県単位の能力育成に関する研修
- 2.地域ブロックごとの能力育成に関する話しあい
- 3.保健所内での業務内容についての話しあい
- 4.保健所内の研究業務推進
- 5.市町村との協同した活動の推進
- 6.上司の指導的な係わり
- 7.所長のリーダーシップ
- 8.本人の業務の見直しなどの努力
- 9.その他（具体的にどんなこと？）

1 7 保健所保健婦の能力育成の阻害要因として最も考えられることは何でしょうか？

該当するものから1つを選んで○印をして下さい。

- 1.受け持ち地区が明確でない
- 2.業務担当制のみで地区担当制がなくなった
- 3.保健所内での組織的な取り組みができない
- 4.保健婦同士の話しあいの時間がもてない
- 5.保健婦が同じ係り内にいないため困ったことを保健婦に相談できない
- 6.保健所保健婦の業務が多様化した
- 7.保健所保健婦の目指す方向が不明瞭
- 8.上司が保健婦でなくなった
- 9.保健婦先輩から助言をえられない
- 10.研修機会が少ない
- 11.その他（どんなこと？）

1 8 保健所保健婦能力育成についてあなたの自由な意見を書いて下さい。

あなた自身について伺います。

A あなたが保健所保健婦として採用されたのは？ 西暦 年

B あなたは県保健婦として採用前に看護職の経験がありますか？

- |                |               |
|----------------|---------------|
| — 1.ある         | 2.ない          |
| →それは次のどれですか？   |               |
| 1.市町村保健婦       | 2.臨床看護婦       |
| 3.臨床助産婦        | 4.それ以外（何ですか？） |
| →その期間はどのくらいですか | （ ）年          |

C あなたが保健婦について学んだ学校は？

- |        |         |
|--------|---------|
| 1.専門学校 | 2.短大専攻科 |
| 3.大学   | 4.その他   |

D あなたは以下の勤務経験がありますか？

- 1.ある 2.ない  
↳ 経験年数を書いてください。

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 県庁勤務            | ( ) 年 |
| 市町村との人事交流で市町村勤務 | ( ) 年 |
| 保健婦学校等の学校勤務     | ( ) 年 |

E あなたの現在、所属する部署はどこですか？ ( )

F あなたの現在の仕事の内容はどんなことですか。

( )

D あなたは自分の保健所保健婦としての仕事に満足していますか。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1.とても満足している  | 2.まあまあ満足している |
| 3.あまり満足していない | 4.満足していない    |
| 5.わからない      |              |

E あなたは現在の保健所は十分に機能していると思いますか？

- |      |        |
|------|--------|
| 1.思う | 2.思わない |
|------|--------|

上記を選択した理由をお書き下さい。

( )

ご協力どうもありがとうございました。

「保健所保健婦現任教育研究班」

## 保健所保健婦現任教育に関する調査（その2）

### 企画・調整機能における達成目標の自己評価

問：あなたの現在までの経験をふりかえって達成目標の項目内容ごとに自分の能力を評価すると、自分の能力の達成度はどのようになりますか。自己評価欄の0および1から5のあてはまるもの1つに○をつけて下さい。（遠慮することなく自分の正直な気持ちで選択して下さい）

			自己評価						
			1 で き な い	2 で あ き ま り い	3 ふ つ う	4 で き る	5 よ く で き る	0 機 会 が な い	
中堅保健所保健婦達成目標									
企 画 機 能	I 地 区 診 断 の 明 確 化	(1)	1. 業務担当している管内の情報を目的に添って収集する (市町村別などに健康指標や生活実態・社会資源の提供状況を収集し、整理する)	1	2	3	4	5	0
			2. 収集した情報を分析し担当業務についての市町村ごとの健康ニーズが明らかにできる	1	2	3	4	5	0
			3. 健康ニーズを構造的にとらえ、担当者として優先性を明確にすることができる	1	2	3	4	5	0
	現 状 分 析	(2)	4. 現在実施されている事業をニーズに基づき評価し、課題を明確にできる	1	2	3	4	5	0
			5. 事業評価から課題が解決に結びつかない要因について、組織体制・マンパワー・予算面、方法などから検討できる	1	2	3	4	5	0
			6. 保健所内で業務に対して見直した結果から問題点を提案できる	1	2	3	4	5	0
能	II 事 業 企 画 ・ 評 価	(1)	7. 法的根拠、事務処理方法、これまでの事業経過を踏まえ、事業の位置づけを理解できる	1	2	3	4	5	0
			8. 担当業務の市町村ごとの健康ニーズをふまえ、保健所レベルの健康ニーズを整理することができる。	1	2	3	4	5	0
			9. 市町村ごとの健康ニーズにより、現在の実施内容を見直し次年度の事業実施計画の原案を作成できる	1	2	3	4	5	0

			自己評価								
			1 で き な い	2 で あ き ま り な い	3 ふ つ う	4 で き る	5 よ く で き る	0 機 会 が な い			
中堅保健所保健婦達成目標											
企 画 機 能	Ⅱ 事 業 企 画 ・ 特 別 事 業 評 価	(2)	10. 健康ニーズから焦点をしばり、事業企画の目的を決定できる	1	2	3	4	5	0		
		新規	11. 健康ニーズと条件（予算、マンパワー等）を加味して事業企画の目標を設定できる	1	2	3	4	5	0		
		・	12. 計画した企画の適否について各方面から検討をころみることができる	1	2	3	4	5	0		
		特別	13. 企画書を説明する相手等を考慮して作成することができる	1	2	3	4	5	0		
		事業	14. 企画書について、他職種に適切な説明ができる。	1	2	3	4	5	0		
		評価	15. 企画を様々な人々の協力を得て実行できる	1	2	3	4	5	0		
	能	Ⅲ 市 町 村 支 援	(1)	17. 市町村保健婦活動計画について、計画の意図等について市町村保健婦の意見を聞くことができる。	1	2	3	4	5	0	
			保健	18. 市町村の保健婦活動計画について町村の健康ニーズ分析を基に意見を述べるることができる	1	2	3	4	5	0	
			婦	19. 市町村保健婦の仕事の配分や事業実施に必要な情報についてアドバイスすることができる	1	2	3	4	5	0	
			活動	(2)	20. 市町村の考えを事前に把握することができる。	1	2	3	4	5	0
			計画	21. 市町村の考えを踏まえた上で、健康づくり推進会議の目標・内容を市町村保健婦と一緒に検討できる	1	2	3	4	5	0	
			健康 づ く り 推 進 会 議	22. 会議の資料を保健所内の情報も提供しながら市町村保健婦と一緒に作成できる	1	2	3	4	5	0	
		23. 保健所としての役割を考え会議で意見を言うことができる。		1	2	3	4	5	0		
		24. 会議について新任者に対して指導することができる		1	2	3	4	5	0		

			中堅保健所保健婦達成目標	自己評価					
				1 で き な い	2 で あ き ま な り い	3 ふ つ う	4 で き る	5 よ く で き る	0 機 会 が な い
企 画 機 能	Ⅲ 市 町 村 支 援 機 能 （ 市 町 村 主 体 の ）	(3)	25. 市町村保健婦や関係者の考え・住民の反応などから市町村側の考えを把握することができる	1	2	3	4	5	0
			26. 情報収集項目や方法・内容、資料化について市町村保健婦の考えを踏まえながら、市町村保健婦に対し意見を述べる ことができる	1	2	3	4	5	0
			27. 保健所内の他部署や県全体の情報も集約することができる	1	2	3	4	5	0
			28. 的確な情報を収集するための実態調査なども市町村保健婦等と協議の上すすめることができる	1	2	3	4	5	0
			29. 健康ニーズに対応した実施可能な計画内容について（市町村の示した計画案）を基に保健所としてのビジョンを示しながら共に考えることができる	1	2	3	4	5	0
			30. 計画の評価について適切な時期・方法を考えることができるよう支援する	1	2	3	4	5	0
			31. 市町村等の他職種と会議の場で意見を交換し、計画の修正ができるよう支援する	1	2	3	4	5	0
		調 整 機 能	Ⅰ 個別ケース		32. ケース援助に必要な人材や機関に対して援助参加を働きかける ことができる	1	2	3	4
	33. ケース援助の目標を明確に打ち出し、援助チームのメンバーの役割 分担についてメンバーに意見をのべる ことができる			1	2	3	4	5	0
	34. 個々の事例のつみかさねから管内事情を考え、個々のケースの 位置づけを考えることができる。			1	2	3	4	5	0
	35. ケース援助のための会議を必要に応じ、地域全体のニーズを考え ながら企画することができる（メンバー構成、会議の目標、会議 の進め方）			1	2	3	4	5	0
	36. ケース援助のための会議のための事前折衝や資料の準備が できる			1	2	3	4	5	0
	37. ケース援助のための会議で司会を担当し会議を効果的に運営し 成果をあげることができる			1	2	3	4	5	0
	38. ケース会議の成果確認方法を考え評価を行うことができる			1	2	3	4	5	0

		中堅保健所保健婦達成目標	自己評価						
			1 で き な い	2 で あ ま り な い	3 ふ つ う	4 で き る	5 よ く で き る	0 機 会 が な い	
調 整 機	II 事業実施	39. 所内の必要な部署・必要な人材や関係機関に事業目的や方法を説明し協力を依頼することができる	1	2	3	4	5	0	
		40. 事業を発展させ地域ケアシステムの推進をはかるために必要な人材や機関を考慮することができる	1	2	3	4	5	0	
		41. 事業実施において協力関係を得にくい人材や機関に対して、地域の健康ニーズなどから必要な資料を作成し説得する方法を模索できる	1	2	3	4	5	0	
		42. 事業をスムーズに運営するために、会議等の効果的な利用が考えることができる	1	2	3	4	5	0	
		43. 事業実施後、事業評価をふまえ、協力関係のあり方を見直すことができる	1	2	3	4	5	0	
		44. 所内の他部署が企画した事業に参加し保健婦として事業についての意見が述べられ、改善案が提示できる	1	2	3	4	5	0	
能	III 関 係 機 関 と の 会 議	(1)	45. 所内の保健婦等からの意見と会議の経過から、関係機関との会議の目標、会議構成メンバー、時期を考慮することができる	1	2	3	4	5	0
			46. 会議の企画書を書くことができる	1	2	3	4	5	0
			47. 会議構成メンバーに事前折衝をおこなうことができる。	1	2	3	4	5	0
			48. 会議の進行方法、会議での役割分担を考慮することができる	1	2	3	4	5	0
			49. 会議の目標を考慮し会議資料の準備することができる	1	2	3	4	5	0
			50. 会議の成果確認方法を検討することができる	1	2	3	4	5	0
			51. 会議の成果を確認し、所内で共有化をはかることができる	1	2	3	4	5	0
	議	(2)	52. 事前に会議資料を読み会議の背景（主催者の考え）、構成メンバー、保健所として参加する目的・役割を理解できる	1	2	3	4	5	0
		実他 会施機 議の関	53. 上司に意見を聞き、保健所としての考えや必要な資料等の準備ができる	1	2	3	4	5	0
				1	2	3	4	5	0

\*この自己評価表は、現任教育に役立つと思いますか？

1.役立つ 2.役立たない

その理由は？ ( )

本自己評価表についての自由なご意見をお書き下さい ( )



保健所保健婦の現任教育方法の開発・指針作成  
平成10年度・平成11年度報告書

発行 2000.3.31

発行連絡先 〒 305-8577

つくば市天王台1-1-1

筑波大学医療技術短期大学部

金子 仁子

tel & fax0298-53-3442

e-mail:mkaneko@sakura.cc.tsukuba.ac.jp



